

はしがき

本書は、京都大学農学研究科／農学部における自己点検・評価の一環として平成22年度の教育・研究の概要を取りまとめたものです。農学研究科／農学部は、現在、7専攻（農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻、食品生物科学専攻）／6学科（資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科）、及び、附属農場・牧場・寄附講座から構成されています。平成22年度は、国立大学の法人化後の農学研究科／農学部の第二中期の初年度にあたり、新たな目標達成に向けて、教育・研究活動の充実に邁進しました。特に、男女共同参画や教育研究基金などの取組み、FDや国際交流の推進に力を注ぎました。また、昨年度、大学として申請・採択された「国際化拠点整備事業」（グローバル30）の一環として、「農学特別コース ―食料・生命・環境の未来をになう人材育成―」を開設し、英語による大学院教育を本格的に開始しました。この年報を通じて、本年度における教育・研究の成果をお読み取りいただき、独立法人化後の教育・研究の目的達成の一助として頂ければ幸甚に存じます。

本年報は、農学研究科／農学部の自己点検・評価委員会のご尽力、構成員全員のご協力により刊行されたものです。ここに感謝の意を表する次第です。

平成23年10月

京都大学農学研究科／農学部

自己点検・評価委員会「年報編集専門委員会」

委員長 縄田 栄治